

火力発電用燃料タンクの運用下限に関する考え方について

2026年7月1日

関西電力株式会社

当社は、2026年6月30日をもって、御坊発電所1号機（和歌山県御坊市）を廃止しました。また、予備電源制度の適用に伴い、2027年3月31日をもって、3号機を休止する予定としており、在庫燃料の計画的な消費等、必要な対応を進めてまいります。

これに伴い、「需給ひっ迫を予防するための発電用燃料に係るガイドライン^{※1}」に基づき公表している火力発電用燃料タンクの運用下限^{※2}に関する考え方について、御坊発電所に関する事項を見直しましたので、お知らせします。

- ※1：資源エネルギー庁が定めたガイドライン。燃料タンクの運用下限の考え方については、透明性を担保するため対外的に公表することが望ましいとされている。
- ※2：燃料輸送船の着栈遅延等、必要なリスクへの対応を考慮して運用上確保している燃料の数量。

以 上

添付資料：燃料タンクの運用下限に関する考え方

燃料タンクの運用下限に関する考え方

基地名	舞鶴発電所	堺LNG基地	姫路LNG基地	御坊発電所
燃料	石炭	LNG	LNG	石油
貯蔵設備容量	500,000 t	560,000kl	520,000kl	60,000kl
発電ユニット	舞鶴発電所1、2号機	堺港発電所1～5号機	・姫路第一発電所5、6号機、 ・姫路第二発電所1～6号機	御坊発電所3号機
運用下限※の考え方	外航船1日分の着岸遅延リスクを想定 (最大消費量/日×1日を確保)	外航船2日分の着岸遅延リスクを想定 (最大消費量/日×2日を確保)	外航船1日分の着岸遅延リスクを想定 (最大消費量/日×1日を確保)	設定なし

※ 着岸遅延等、必要なリスクへの対応を考慮して運用上確保している燃料の数量